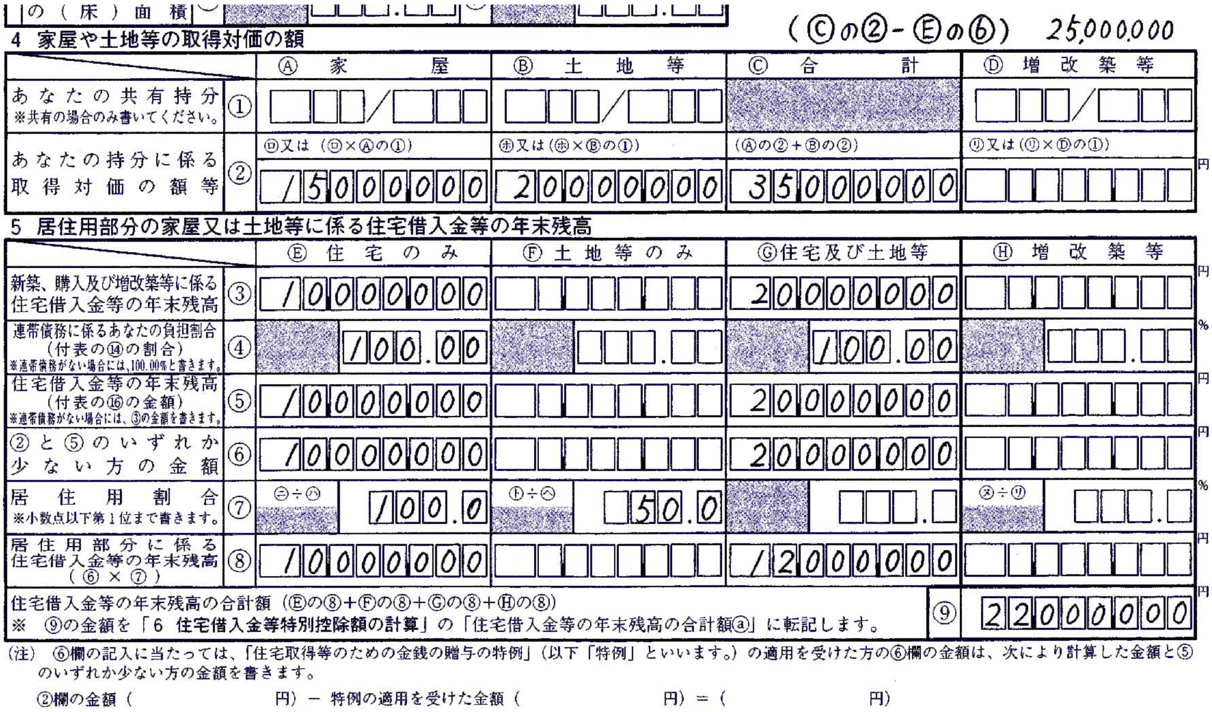
【記載例 4－3－②】

〔控除額計算明細書〕



の（床）面積

（Ⓒの②－Ⓔの⑥）　25,000,000

4　家屋や土地等の取得対価の額

		Ⓐ 家屋	Ⓑ 土地等	Ⓒ 合計	Ⓓ 増改築等	
あなたの共有持分 ※共有の場合のみ書いてください。	①	／	／		／	
あなたの持分に係る取得対価の額等	②	㋺又は（㋺×Ⓐの①） 15000000	㋭又は（㋭×Ⓑの①） 20000000	（Ⓐの②＋Ⓑの②） 35000000	㋷又は（㋷×Ⓓの①）	円

5　居住用部分の家屋又は土地等に係る住宅借入金等の年末残高

		Ⓔ 住宅のみ	Ⓕ 土地等のみ	Ⓖ住宅及び土地等	Ⓗ 増改築等	
新築、購入及び増改築等に係る住宅借入金等の年末残高	③	10000000		20000000		円
連帯債務に係るあなたの負担割合 （付表の⑭の割合） ※連帯債務がない場合には、100.00％と書きます。	④	100.00	.	100.00	.	%
住宅借入金等の年末残高 （付表の⑯の金額） ※連帯債務がない場合には、③の金額を書きます。	⑤	10000000		20000000		円
②と⑤のいずれか少ない方の金額	⑥	10000000		20000000		円
居住用割合 ※小数点以下第１位まで書きます。	⑦	㋥÷㋩ 100.0	㋣÷㋬ 50.0	.	㋦÷㋷ .	%
居住用部分に係る住宅借入金等の年末残高 （⑥×⑦）	⑧	10000000		12000000		円
住宅借入金等の年末残高の合計額（Ⓔの⑧＋Ⓕの⑧＋Ⓖの⑧＋Ⓗの⑧） ※　⑨の金額を「６　住宅借入金等特別控除額の計算」の「住宅借入金等の年末残高の合計額ⓐ」に転記します。					⑨	22000000 円

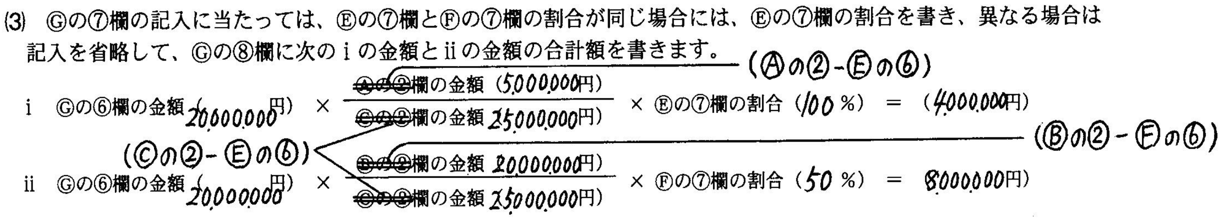
(注)　⑥欄の記入に当たっては、「住宅取得等のための金銭の贈与の特例」（以下「特例」といいます。）の適用を受けた方の⑥欄の金額は、次により計算した金額と⑤のいずれか少ない方の金額を書きます。

②欄の金額（　　　　円）－ 特例の適用を受けた金額（　　　　円）＝（　　　　円）

（注）　「**５　居住用部分の家屋又は土地等に係る住宅借入金等の年末残高**」のⒼの⑥欄には、「Ⓒの②－Ⓔの⑥－Ⓕの⑥」とⒼの⑤のいずれか少ない方の金額を記載する。

その際には、「Ⓒの②－Ⓔの⑥－Ⓕの⑥」の金額を欄外に記載する。

〔住宅借入金等特別控除額の計算明細書の書き方〕



(3)　Ⓖの⑦欄の記入に当たっては、Ⓔの⑦欄とⒻの⑦欄の割合が同じ場合には、Ⓔの⑦欄の割合を書き、異なる場合は記入を省略して、Ⓖの⑧欄に次のⅰの金額とⅱの金額の合計額を書きます。

（Ⓐの②－Ⓔの⑥）

ⅰ　Ⓖの⑥欄の金額（20,000,000円）× ~~Ⓐの②~~欄の金額（5,000,000円）／ ~~Ⓒの②~~欄の金額（25,000,000円）× Ⓔの⑦欄の割合（100％）＝（4,000,000円）

（Ⓒの②－Ⓔの⑥）

（Ⓑの②－Ⓕの⑥）

ⅱ　Ⓖの⑥欄の金額（20,000,000円）× ~~Ⓑの②~~欄の金額（20,000,000円）／ ~~Ⓒの②~~欄の金額（25,000,000円）× Ⓕの⑦欄の割合（50％）＝（8,000,000円）